

科目名	総合日本語初級 I						
科目名(英)							
単位数	18単位	時間数	278時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	聞くこと、話すことを中心に、日本語の基礎となる言葉や文法を学ぶ。学校、寮、アルバイト先などでコミュニケーションができるようになることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		教室や寮、アルバイト先など日常生活のよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
	○	○		○		教室、寮、店や駅、アルバイト先などの身近な場面で簡単なやりとりをしたり、自分についての簡単な質問に答えたりすることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I・II 第2版』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1~14	第1課～第3課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	14~32	第4課～第7課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	33~54	第8課～第12課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	55~72	第13課～第16課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	73~86	第17課～第19課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	87~100	第20課～第22課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
	101~116	第23課～第25課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)		
117~139	第26課～第30課			授業の前に該当範囲の文法解説書を読み、授業後は指定された宿題を行うこと。(1時間)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テスト(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
確認テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	読解初級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	お知らせ、インタビュー、クイズ、アンケート、グラフなど様々な読み物を通して、「読む」ことに慣れ、「読む」楽しさを味わう。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		ひらがな、カタカナ、基本的な漢字で書かれた平易な文章を読んで理解することができる。	
	○	○		○		読み取った内容を自分の生活と照らし合わせ、何らかの感想を持つことができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『初級で読めるトピック25』 スリーエーネットワーク 2014年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第6課・第7課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	2	第8課・第9課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	3	第10課・第11課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	4	第12課・第13課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	5	第14課・第15課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	6	第16課・第17課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	7	第18課・第19課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	8	第20課・第21課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	9	第22課・第23課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	10	第24課・第25課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	11	第26課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	12	第27課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	13	第28課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	14	第29課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
15	第30課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解初級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使った会話などを聞き取る練習をする。ポイントをつかむ練習と細部まで正確に聞き取る練習を行う。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		教室や、身の回りなど、日常生活の中でもよく出会う場面で、ゆっくり話される短い会話であれば、必要な情報を聞き取ることができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『聴解タスク25』 スリーエーネットワーク 2017年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課・第2課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	2	第3課・第4課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	3	第5課・第6課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	4	第7課・第8課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	5	第9課・第10課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	6	第11課・第12課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	7	第13課・第14課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	8	第15課・第16課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	9	第17課・第18課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	10	第19課・第20課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	11	第21課・第22課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	12	第23課・第24課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	13	第25課・第26課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
	14	第27課・第28課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)		
15	第29課・第30課			教科書の該当範囲の新出語を予習しておくこと(30分)			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)中間試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
中間試験	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	会話初級 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って話す練習をする。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		身の回りの日常的な場面で、よく使われる言葉を使って、簡単なやりとりができる。	
	○	○		○		自分の国や家族、趣味や興味のあることなどについて話すことができる。	
テキスト・教材 参考図書	田中よね他 『みんなの日本語初級 I・II 第2版』 スリーエーネットワーク 2012年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課・第2課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	2	第3課・第4課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	3	第5課・第6課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	4	第7課・第8課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	5	第9課・第10課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	6	第11課・第12課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	7	第13課・第14課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	8	第15課・第16課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	9	第17課・第18課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	10	第19課・第20課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	11	第21課・第22課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	12	第23課・第24課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	13	第25課・第26課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
	14	第27課・第28課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)		
15	第29課・第30課			習った会話を実際の場面で積極的に使ってみること(30分)			
評価方法	(1)定期試験(口述)を実施する。(2)中間試験(口述)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	中間試験	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文初級 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	メインテキストの学習進度に合わせて、習った言葉や文型を使って書く練習をする。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		初級の言葉や文型を使って、文章の構成に注意しながら、身近なテーマで自分の表現したいことを書くことができる。	
	○	○		○		正しく読みやすい文字で作文が書ける。	
テキスト・教材 参考図書	門脇薫 『やさしい作文』 スリーエーネットワーク 2018年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己紹介①			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	2	自己紹介②			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	3	わたしの家族①			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	4	わたしの家族②			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	5	私の趣味①			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	6	私の趣味②			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	7	もしわたしが二人いたら①			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	8	もしわたしが二人いたら②			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	日本事情 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	柴藤絵美		
実施年度	2023年度	実施時期	前期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(2年)1年						
授業概要	日本の法律や習慣、学校の規則などを理解し、身近な人々と良い関係を築き、日本での留学生生活をスムーズにスタートすることを目指す。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		日本の法律や習慣、学校の規則を理解し、実践できる。	
				○		担任やクラスメート、アルバイト先の人などと良い人間関係を築くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	入学式			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	オリエンテーション			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	防災センター			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	進路説明会			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	バスハイク①			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	バスハイク②			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	バスハイク③			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	バスハイク④			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への参加状況	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							